

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回お示しする以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報の利用をご了解頂けない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

球形吸着炭服用患者におけるモニタリングシートを用いたフォローアップ体制の構築とその評価

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院薬剤部

【研究責任者】田中 守(薬剤部長)

【研究目的】

慢性腎臓病治療薬の1つとして、球形吸着炭(商品名:クレメジン®)があります。球形吸着炭は、尿毒症毒素を吸着して慢性腎臓病の進行を抑える薬ですが、「吸着」という性質から他の薬との飲み合わせが悪く、服薬アドヒアランス(患者さん自身が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること)が低下することが問題となっています。

2019年12月より愛媛大学医学部附属病院(当院)の薬剤師外来では、医師と連携し、球形吸着炭が処方された患者さんに対して服薬指導することで、アドヒアランスの維持・向上および副作用の確認を開始しました。また、当院では2013年7月より院外処方箋の右側部分に「おくすり伝言板」を作成し、病院と薬局間で「おくすり伝言板」を利用した情報共有を行っております。そして、おくすり伝言板で利用できる「クレメジンモニタリングシート」を作成し、そのシートを用いて保険薬局が患者さんから聴取した服薬状況や副作用を当院へフィードバックし、薬剤部で電子カルテに反映しています。

一方、病院(薬剤師外来)や保険薬局薬剤師による服薬状況や副作用の確認がアドヒアランスの向上や副作用の早期発見に繋がっているか否かは調べられていません。そこで今回、外来服薬指導による効果とその影響、そして、病院(薬剤師外来)と保険薬局薬剤師の連携(薬薬連携)の有用性を評価します。

【研究意義】

球形吸着炭による治療において、薬剤師外来の介入および「病院-保険薬局」間の情報

共有の取り組みが患者さんのアドヒアランス向上、副作用の早期発見、医師のより良い対応に繋がることを証明することで、薬物治療の質の向上に繋がるのが期待できます。

【調査の対象となる患者さん】

2019年12月～2023年3月の間に愛媛大学医学部附属病院で球形吸着炭を処方され、薬剤師外来で服薬指導やモニタリングを受けた患者さんおよび保険薬局でクレメジンモニタリングシートを用いた介入を受けた患者さん

【方法】

調査の対象となる患者さんの電子カルテより、以下について調査します。

性別、年齢、身長・体重、血清Cr値、eGFR、BUN、血清K値

クレメジンモニタリングシートの確認項目の服薬状況、服薬意義、便秘、食欲不振、悪心・嘔吐、血圧、浮腫、自由記載の内容

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化します。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 越智 理香

【研究実施体制】

研究機関:愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者:田中 守

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号:089-960-5730

研究分担者:副薬剤部長 飛鷹 範明

副薬剤部長 越智 理香

薬剤師 佐々木 優

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いて欲しいという方は、下記の連絡先までお申し出下さい。また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は、下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答え致します。

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 越智 理香

791-0295 愛媛県東温市志津川、電話番号:089-960-5738